

令和4年度新たな都市活力推進特別委員会報告書 構成(案)

1 付議事件

オープンイノベーション等による企業支援や誘致促進、グローバル都市の実現、文化芸術創造都市や観光・MICEの推進等に関すること。

2 調査・研究テーマ

横浜の魅力を活かした選ばれるグローバル都市・横浜の実現について

3 テーマ選定の理由

長期化するコロナ禍や緊迫する国際情勢、多方面にわたりグローバル化が進展する現代の中で、国際都市としての役割の重要性が再認識されており、都心臨海部における都市空間の優位性と文化芸術の創造性を活かした横浜らしい魅力の創出と発信が今まで以上に求められている。

そのために、国際社会におけるコロナ禍からの回復を見据えつつ、世界から訪れ、居住し、ビジネスに携わる人々が快適に滞在・生活できる多様性と包摂性に富んだ都市づくりや、世界で活躍するグローバル人材の育成、オープンイノベーションの促進、国内外からの誘客促進・MICE開催支援の取り組みを強化していく必要がある。

また、市内の既存施設や歴史的建造物の存在価値を再評価しながら、最先端技術を活用した先進的なまちづくりの取り組みにも注力していくことも重要である。

当委員会では、今年度はこのテーマに基づき、本市の取り組みの検証、他都市の取り組みの調査及び有識者からの意見聴取などを実施し、多方面に調査、研究を行うこととした。

4 委員会活動の経緯等

(1) 令和4年6月9日 委員会開催(第1回)

ア 議題

令和4年度の委員会運営方法について

今年度の委員会運営方法について意見交換を行った。

今年度の調査・研究テーマを「横浜の魅力を活かした選ばれるグローバル都市・横浜の実現について」についてと決定した。

イ 委員意見概要(当日の委員意見を記載)

(2) 令和4年9月21日 委員会開催(第2回)

ア 議題

調査・研究テーマ「横浜の魅力を活かした選ばれるグローバル都市・横浜の実現」について

イ 委員会開催概要

調査・研究テーマに関連する本市施策等について、次のとおり当局から説明を聴取した後、意見交換を行った。

【出席局】国際局・経済局・文化観光局・港湾局

(ア) ウクライナ情勢を踏まえた国際社会との連携 (説明概要を記載)

(イ) グローバル人材の育成及び海外人材の呼び込み (説明概要を記載)

(ウ) 公民連携による国際技術協力を通じた海外都市の脱炭素化等の取組 (説明概要を記載)

(エ) グローバルビジネス推進事業 (説明概要を記載)

(オ) イノベーション都市・横浜の推進 (説明概要を記載)

(カ) 国内外からの誘客事業 (説明概要を記載)

(キ) クルーズ客船の受入れ (説明概要を記載)

(ク) 賑わい施設や回遊動線の整備・改修 (説明概要を記載)

(ケ) 人を呼び込む賑わい創出の取組 (説明概要を記載)

ウ 委員意見概要 (当日の委員意見を記載)

(3) 令和4年11月29日 委員会開催 (第3回)

ア 議題

参考人の招致について

イ 委員会開催概要

本委員会の付議事件に関連して、次回委員会において参考人からの意見聴取を行うことを決定した。

参考人：アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター 所長
ブルース・バートン 氏

案件名：選ばれるグローバル都市に向けた横浜市の魅力について

(4) 令和4年12月1日 委員会開催 (第4回)

ア 議題

選ばれるグローバル都市に向けた横浜市の魅力について

イ 参考人招致概要 (参考人講演の概要を記載)

ウ 委員意見概要 (本日の委員意見等を記載)

(5) 次回委員会 (第5回)

当日の概要を記載

5 横浜の魅力を活かした選ばれるグローバル都市・横浜の実現についてのまとめ 委員意見等から導き出される本委員会のまとめを記載